



令和4年9月30日

# かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

10月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

## 中学校ブロックと共に～小学校での役割～

校長 小林 京子

瀬谷中学校ブロック（瀬谷中・上瀬谷小・大門小・瀬谷小）では、教育課程全体を通じて教科等横断的（全ての教科をつなげて）に育成を目指す「資質・能力」として、「自分自身を高めていく力」を挙げています。上瀬谷小・瀬谷中での9年間の育ちの中で、「自分自身を高める力」を身に付けていくような教育活動を共にしていくというイメージです。

もちろん、この資質・能力が一度に形成されるわけではなく、「自分自身を高めていく力」が身に付くまでには、同時に様々な力を育成しなければなりません。本校では、その中でも特に大切な瀬谷中ブロックの小学校期の役割として「基本的生活習慣の形成」と「人とのかかわり」「思いやりの心」の育成を考えています。

「基本的生活習慣の形成」については、学校全体で意識できるように、朝ごはんと運動・学習準備（例として、筆箱の中を整えること）・姿勢を整えることやあいさつの重要性などを4月から、朝会をはじめとする様々な場面で、繰り返し指導しています。本校の子どもたちは、登校班により一定時間の中で正門を通過し、安全に登校し、速やかに一日をスタートさせることができます。給食も一人分の給食をしっかりと食べられる子も多く、先日の歯磨き検査では、「A：よくみがけています」の判定をもらう児童も多く、歯科衛生士からお褒めの言葉をいただきました。一方で、「A」であっても、歯石があったり歯茎が腫れていたりし、普段の歯磨きの不足、睡眠不足、栄養の偏りが原因との指導もありました。学習の様子についても、9月2日の授業参観でも見ていただけたように、どのクラスも落ち着いています。しかし、こちらも一定時間、姿勢が維持できなかつたり集中できなかつたりする児童もいます。いずれも、子どもたちが、自分の学びや生活の姿を見つめ、常に「ふりかえり」の時間を大切にすることで、自分自身を高めることにつながっていることに気がつくようにしています。ご家庭での応援も欠かせません。

「人とのかかわり」や「思いやりの心」も本校の活動の軸となる子ども同士のかかわり合いの中で育てていきます。今は、スポーツフェスティバルの練習も始まり、異学年で学び合い、高め合っています。また、先月の「瀬谷区子ども会議」での学びや自分たちの体験を生かし、表面的な「あいさつ運動」ではなく、「あいさつがなぜ必要なのか」を自分たちで考える取組を開始し始めました。互いに気持ちよく人とかかわるために、どんな姿がよりよいのか、素敵なのかを子どもたちが考え、実行している最中です。

9月8日は、小学校教職員が瀬谷中へ、22日は瀬谷中の教職員が各小学校の授業を参観しました。双方の授業を見合い、共に育てていきたい子どもたちの姿を共有するためです。目まぐるしく変わる社会情勢の中で、「自分自身を高める力」を育てるためには、どんな教育が子どもたちにとって必要なのか。上瀬谷の子どもたちをお預りする教職員として、瀬谷中学校や瀬谷小学校、大門小学校と共に、引き続き考えていきたいと思っております。